



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104

Tel. 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail: center@healthcare.gr.jp

編集代表 林 浩司

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金 歯科医師 5,000円

その他 3,000円

学会年会費 歯科医師 12,000円

その他 3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

銀行振込口座 三菱UFJ銀行 江戸川橋支店

普 0051809

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

CONTENTS

巻頭 ウィステリア バージョンアップ	p.1	告知板	p.9
iPad をパソコンのサブモニター化してしまう Sidecar 機能について	p.5	ヘルスケア歯科医院ちょっと拝見します 新リレー7 ..	p.10
連載 すべての医療者に知ってほしい! 新型タバコのエビデンス②	p.6	事務局から	p.12
ヘルスケア Q&A	p.8	ヘルスケアフォーラム	p.13
		ヘルスケアミーティング 2019 抄録	p.14
		ヘルスケアミーティング 2019 案内	p.28

催しものご案内

① 関東実践セミナー

日時: 2019年9月22-23日,

2020年3月21-22日

会場: クロス・ウェーブ船橋

② ヘルスケアミーティング 2019

日時: 2019年10月13-14日

会場: 秋葉原コンベンションホール

③ 禁煙支援育成歯科衛生士ミーティング

日時: 2019年10月14日 午後

会場: 秋葉原コンベンションホール

④ 歯周病の進行度バイオマーカー研究 について

日時: 2019年10月14日 午後

会場: 秋葉原カンファレンスフロア 5A

⑤ 認定歯科衛生士検定会

日時: 2019年12月8日

会場: 太陽歯科衛生士専門学校

⑥ 歯科衛生士育成基礎コース③④

日時: 2020年1月12-13日

会場: 神戸常盤大学

重要なご案内

● 以下の同封物をご確認ください

1. 2020年度会費振込用紙

当学会の会計年度は1月から12月までです。2020年度会費の振込用紙を同封いたしましたので、お近くの郵便局からお早めにお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

なお、口座振替を9月17日までにお申し込み済みの方は、10月28日が引き落とし日となります。ご確認ください。

ウィステリア バージョンアップ

～より使いやすく より便利に～



藤木省三 (コアメンバー)

ヘルスケア歯科診療の重要な項目の一つが、規格性のある記録とその検証です。そのために、当学会ではデータベースソフト「ウィステリア」を独自に開発してきました。前回のバージョンアップから4年9ヵ月が経ち、その間にiPadなどの機器も発展し、またCRASPのようなカリエスリスクコントロールの手法も新たに開発されてきました。

そこで、そのような進歩に対応したバージョンアップ作業が現在進行中です。その一端をお知らせしたいと思います。

今回の開発テーマは「より使いやすく より便利に」で、今までの少しとっつきにくかったイメージをできる限り払拭することと、日常の臨床で欠かせない便利さを求めることにしました。

1. より使いやすく

・ユーザーレベル別のレイアウト画面に

これまでのウィステリアはプロービングチャートを入力するユーザーもしないユーザーも同じ画面から操作していました。そのため、画面が複雑で実際に使いにくいという声もありました。そこで、Ver. 6では、ユーザーレベルを三つに分けて必要な画面だけを表示させるようにしました。

ユーザーレベル 1

写真や歯周組織検査の詳しいデータは他のソフトを利用して、結果だけを簡単に入力できるようにしています

ユーザーレベル 2

写真や歯周組織検査を含めてウィステリアを使い

ますが、プロービングチャートは紙媒体で使用するユーザーです。

ユーザーレベル 3

プロービングチャートも含めてウイステリアを活用できるレベルです。今回のバージョンアップでは、iPad での入力も使いやすくなっています。

・写真入力方式の統一

Ver.5 では、写真入力は Photo1 と Photo2 の二つの写真入力システムが混在していた、Photo1 では保存に限界がありました。今回のバージョンアップでは、Photo1 と Photo2 を統合しどちらの形式でも制限なく保存できるようになりました。その結果、今までなら同一日に9枚以上撮影する時は撮影日をずらすなどの工夫が必要でしたが、1日に最大26枚まで保存できるようになりました。

・歯式入力の統一

残存歯数、DMFT、dft は長期メンテナンスを行った結果を知る非常に重要なデータですが、これまではウイステリア本体、ベリオアシスタントなど別々に入力しなければならなかったため整合性を保つのが大変でした。Ver.6 では、歯式を一元管理するようにしてどこか一つを変えると関連するすべてのデータも変更されるようになりました。

・CRASP

紙媒体で使うのももちろん OK なのですが、ウイステリアと連携させることで一人ひとりの患者の推移を色の変化で表示ができたり、診療室全体の結果を検索、集計することも簡単です。iPad と連携できるので、紙媒体で記録したものを PC に再入力する手間も省けます。

2. より便利に

これまでのウイステリアは“データ管理ソフト”として、無理にでも“使わなければならない”ソフトというイメージが強かったかもしれません。今回は、日常臨床であれば便利と思われるソフトを追加して、“ぜひ使いたい”ソフトになるように考えました。

・表示画面

メンテナンスしている患者のリスク状況をぱっと見たい!と思うことはありませんか。カリエスリスクの高い項目、歯周病でリスクの高い歯、こういうことがウイステリアの画面を開けるだけでわかるように表示内容を変更しました。もちろん、今までのデータもワンクリックで確認することが可能です。

ウイステリア Pro ver6.0

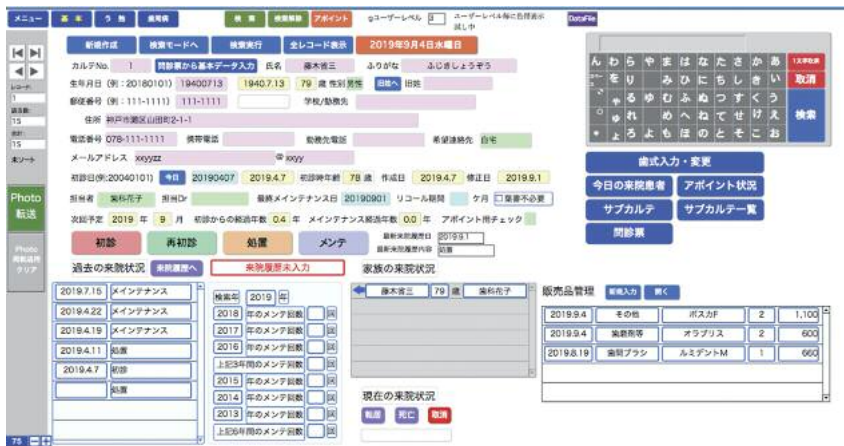


図 1 基本画面。従来のウイステリアと比較して、フィールド、ボタンなどの色調を一新しました。受付で活用できるように販売品管理のフィールドが追加されています。



図 2-1, 2-2 ユーザーレベル 3 のう蝕情報画面。標準では CRASP の結果が表示されていて、現在のう蝕リスクの様子が一目わかります。タブをクリックすると、従来の dft, DMFT, 残存歯数の変化も簡単に見ることができます。患者の様々な情報を入力できる、患者情報のフィールドも追加しています。

切り替えタブ

・サブカルテ

サブカルテを書いたり読んだりするのにいちいちカルテ袋を探さなくてはならない、誰が読んだかわからない、そういう不満を解消するためにサブカルテのソフトを追加しました。今まで通りの紙媒体のサブカルテも便利です。そういう場合はiPadのカメラ機能で取り込んでおくことも可能です。

・患者情報・販売品管理

毎日来院する患者の、保存すべき情報はカリエスリスクや歯周病のリスクだけではありません。全身状況やリスクのある服用薬、アレルギーなどもわかりやすくしておきたいものです。アレルギーではラテックス手袋を使えない、腰痛があるのでクッションが必要、めまいがある

からチェアは半分しか倒さない、そういう注意も入力できます。

歯間ブラシやフッ化物洗口剤をお勧めしたが、実際に購入してもらったか、そういう記録も残っていると毎回確認しなくても状況を把握することができるようになります。

・問診票

iPadの利用法の一つとして問診票も追加されました。現在は基本的な情報だけですが、長期のメンテナンス患者では気がついたら「〇月に胃がんの手術を受けました」「ペースメーカーを埋めました」などと言われることもあります。将来は、一年毎のチェックなどに使えるようにしていきたいと考えています。

・「DataFile」フォルダ作成機能

患者の資料はウイステリアに登録できるデータ以外にも数多くあります。お薬手帳の写真、他院からの紹介状や情報提供書、様々な計画表、嚥下や舌癖の動画ファイル、そういった様々な資料を保存できる個々の患者のフォルダを作成する機能です。ワンクリックでフォルダが開くので、ドラッグ&ドロップで簡単に保存することができます。

現在はプログラム作成はほとんど終了して、これから細かい調整とマニュアル作成にとりかかります。来年秋のヘルスケアミーティングには発売できるように予定しています。楽しみに待っていてください。

Preview



図 3-1 最新の歯周組織の状態。写真撮影情報（右）と販売品情報（左下）



図 3-2 メモ欄表示（右）、患者情報表示（左下）



図 3-3 info 欄（右）抜歯履歴、処置履歴や唾液分泌量を表示

ユーザーレベル 3 の歯周病情報画面。標準では、最新の歯周組織の状態を色でわかりやすく表示しています。タブをクリックすることで、初診、再評価の状態も確認することができます。この患者のリスクのある歯が赤ワクで表示されます。写真撮影情報のタブをクリックすることで、メモ欄や拔牙履歴、処置履歴等の情報も見ることができます。

ウイステリア Pro ver6.0 Preview



図4 今回の大きな改善点である歯式を入力する画面です。ここでは、残存歯や dft, DMFT の情報を入力できます。ここで入力した情報は、ウイステリアや PerioAssistant すべてにリンクしているので、他のところでもう一度入れ直す必要がなくなりました。



図5 CRASP を紙媒体だけでなく、iPad でも使えるようになりました。スクロールしながらタッチするだけで入力できます。実施時にちょっとしたことを書き留めておくための「メモ」フィールドも準備しています。



図6 iPad 基本画面

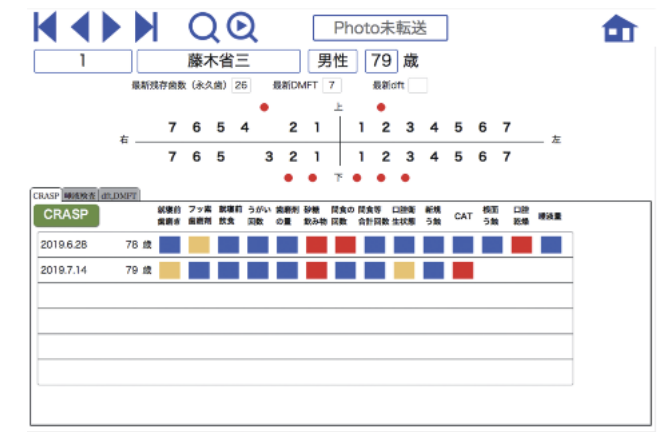


図7 iPad う蝕画面



図8 iPad 歯周病画面

今回のバージョンアップでは、iPad が活用しやすいように工夫を凝らしました。図6～8 は iPad での基本、う蝕情報、歯周病情報画面です。iPad では細かいデータを入力するのではなく、患者情報を共有することを最優先しました。



図9 iPad での、歯周組織検査入力画面です。前回のバージョンアップ時期よりも FileMaker Go の機能が充実したため、よりシンプルに入力できるようになりました。

※ 画像は開発中のものです



iPad をパソコンのサブモニター化して使う Sidecar 機能について



森 一弘 (アクセス代表)

iPad については、これまで何度か取り上げてきましたが、今回もタイムリーな話題として iPad のお話です。2019 年、この秋に OS のアップグレードが行われ、今まで iPhone と共通であった iOS が、iPadOS として iPad に特化した OS に生まれ変わると Apple 社より発表がありました。この記事を読んでいるところは、既に iPadOS のリリース直後かもしれません。その新機能のひとつに Sidecar という Mac パソコンのサブモニターとして iPad を使える機能が加わるというのです。

最近ではチェアサイドを 2 画面モニターにして、口腔内写真と Xray 写真を 2 画面にわけて表示するなどの使い方をされている医院が増えています。Sidecar とはその 2 台目のモニターに iPad を使えるという機能です。歯科医院用のサブモニターとして iPad は小さすぎるかもしれませんが、その軽くて小さい携帯性と、タッチパネルが使える点で、患者様に至近距離でプレゼンテーションできるツールになりますね。特に Mac のパソコンにはタッチパネル入力機能が標準装備されていないので、その意味でも Sidecar 機能はありがたい追加機能です。

「ウイステリアでは iPad を直接子機として使えるし、Xray 写真の子機として使えたりもするのに、わざわざサブモニターにする意味があるのか？」という考え方も逆にあるかもしれませんが、それぞれの歯科医院の環境によって使い分けるとよいと思います。

たとえば、iPad をネットワーク内で子機として使う場合は、必ず Wi-Fi 接続が必要になります。院内に無線のアクセスポイ

ントを設置しなければならないわけですが、設置の仕方や機材の選び方、院内の環境によって、無線の安定感にかなり違いがあります。日進月歩で技術革新しているとはいえ、有線 LAN と無線 LAN ではスピードも安定感も各段に違います。できる限り安定感のある無線 LAN 環境をつくるには、やはり経験値の高いプロの技術者に設置設定を依頼するのが望ましく、素人設定では後々トラブルが起き易いなど、問題もあります。

かたや iPad をサブモニターにする場合、子機として Wi-Fi 接続で使うのとは根本的に違い、データの処理そのものは有線 LAN 接続されたパソコンの性能を使って行われ、それをサブモニターで操作するだけなのです。この設定は、院内のネットワーク環境に左右されることなく、素人でも比較的わかりやすい設定で、かなり安定感が高い状態をつくるのが可能です。

ウイステリアを iPad の子機で動かす場合、写真の取り扱いが少し苦手であると以前よりお伝えしておりましたが、このサブモニターであれば、疑似的ではありますが、写真の取込も表示もできてしまうことになります。

もちろん Wi-Fi 接続で iPad を子機として使うのが悪いということではなく、医院の状況によって使い分ければよいというご提案です。

大雑把な表現ですが、iPad を子機としてネットワーク上で運用する場合、高い安定性と導入台数に比例して導入コストも運用コストもそれなりに掛かると覚悟し、低コストで iPad の利便性を活用したい場合には Sidecar 機能でサブモニターという考え方ででしょうか。ウイステリアをパソコン 1 台で使う場合や、2～3 台の小規模なネットワークで使う場合に有効なのかもしれません。

ただ注意点として、Sidecar 機能は、iPadOS と同時期にリリース予定の MacOS10.15 Catalina からの機能ということらしく、それより前の Mac OS では機能しません。Windows 機も対象外です。そこはちょっと残念ですね。しかしながら、実際には別の方法を使ってそれらも解決できます。ここではその具体的な方法についてまで、触れることは避けませんが、今回のご紹介は、こういった選択肢があるということを知っていただくことが重要です。今後の医院運営のなかで皆様の院内パソコン環境下で使えそうな機能とお感じになったら、より具体的に検討されてはいかがでしょうか。

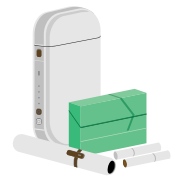


☆アクセス

〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13
TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767
携帯 090-1920-7894 E-mail kazu@access-pcdoc.com
URL <https://www.access-dental.jp/>
URL <http://www.access-pcdoc.jp>

すべての医療者に知ってほしい！ 新型タバコのエビデンス

第2回：新型タバコ時代！ 電子タバコと加熱式タバコ、何が違う？ ②



田淵貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部 副部長）

Key Points

- 加熱式タバコは、タバコの葉を加熱してニコチン等を含んだエアロゾルを発生させる。電子タバコはリキッドを加熱し、エアロゾルを発生させる。
- 加熱式タバコには、アイコス、グロー、プルーム・テックといった商品があり、電子タバコには、500種類以上のブランドがある。
- 加熱式タバコがタバコとして販売されている一方、ニコチン入りの電子タバコは規制され、ニコチン入りの電子タバコは公には販売されていない。

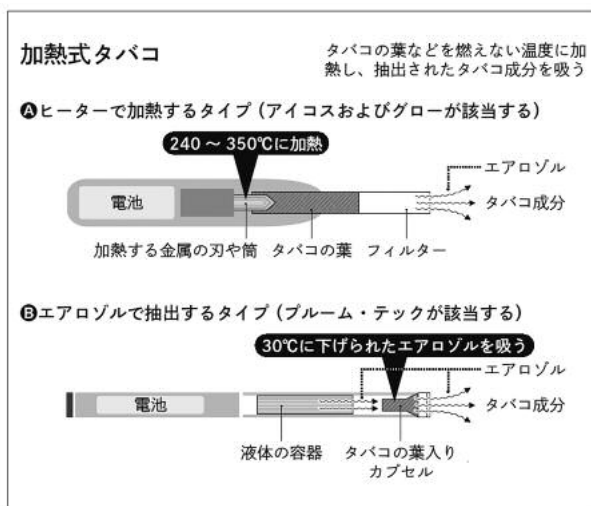
今回は、新型タバコ（加熱式タバコと電子タバコ）の構造や規制の状況についてお伝えします。なぜなら、皆さんから新型タバコ問題について患者さんなど一般の方々に伝えてもらう上で、簡単にでも理解しておいてもらう必要がある情報だからです。

加熱式タバコは、従来からの紙巻タバコのようにタバコの葉に直接火をつけるのではなく、タバコの葉を加熱してニコチン等を含んだエアロゾルを発生させる方式のタバコです。アイコス、グロー及びプルームエスでは、それぞれの専用電

子デバイスにより、タバコの葉を含む専用のスティックを200～350℃に加熱し、ニコチン等を含む気体状のエアロゾルを発生させ、吸引します（図1のA）。一方、プルーム・テックでは、粉末状のタバコの葉を含む専用カプセルに、グリセロールやプロピレングリコール等を含む溶液を加熱して発生させたエアロゾルを通じて、ニコチン等をエアロゾル経由で吸引する仕組みとなっています（図1のB）。プルーム・テックではタバコの葉がある部分での温度が30度程度と低くなっており、ここが低温であることが産生される有害物質量が少ないことと関連しています（※最近市場に登場したプルームエスは、アイコスやグローと同様のタイプであり、200度で加熱する仕様）。

プルーム・テックと電子タバコはよく似た構造をしています。電子タバコでは、吸引器に専用の溶液（リキッド）を入れ、コイルを巻いた加熱器で熱し、発生したエアロゾルを吸引込みます（図2）。この基本構造は共通で、電圧が調節可能であったり、リキッド容量の大小があったりなど、さまざまな電子タバコ製品が開発されています。溶液には、ニコチンや果物などさまざまな香りの人工香料、グリセロール、プロピレングリコールといった液体が用いられます。

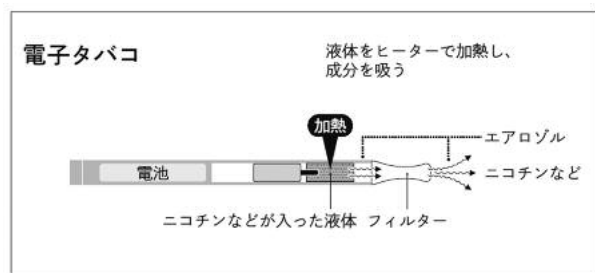
図1 加熱式タバコの構造



（出典）朝日新聞社提供の資料に加筆修正

新型タバコの外観、代表的なブランド名の例および規制の状況を表にまとめて示します（図3）。ご覧の通り、形態・

図2 電子タバコの構造



（出典）朝日新聞社提供の資料に加筆修正

形状は製品によって大きく異なります。電子タバコには、紙巻タバコにしか見えない外観のもの（タバコ型）やペン型、タンク型といったリキッド容量が多く、電圧を調整できるタイプのものもあります。この表1では電子タバコのブランド名として12種を例示しただけですが、世界には500種類以上の電子タバコブランドがあります。

今回の記事から、世の中にどんな新型タバコ製品があるのか、概要を把握していただければと思います。

図3 新型タバコ（加熱式タバコと電子タバコ）の外観、代表的なブランド名の例、規制の状況

製品種別および外観の例	ブランド名の例	該当する日本の法律と規制の状況
加熱式タバコ 	左から順に、 アイコス (IQOS) , グロー (glo) , プルーム・テック (Ploom TECH)	たばこ事業法によりパイプタバコとして管理されている。
使い捨てのタバコ型電子タバコ 	使い切り NEO タバコ (写真) , NJOY, Flavorvapes	薬機法 (旧薬事法) によりニコチン入りの電子タバコは規制されており、ニコチン入りの電子タバコは公には販売されていない。一方、
充電式のタバコ型電子タバコ 	Premium Smoker (写真上段) , Joyetech 510 (写真下段) , Blu, GreenSmoke	ニコチンが含まれない電子タバコについては法的規制が十分ではなく、未成年者に対しても禁止されていない (自主規制があるのみ) 。
充電式のペン型電子タバコ 	Aspire (写真上段) , Ego-T (写真下段) , Vapor King Storm	
充電式のタンク型電子タバコ 	iTaste VTR (写真) , Volcano Lavatube	

ヘルスケア

Q & A

今回の Answer : 中本知之 (神戸市開業)

Q 中本さんは、いろいろなヘルスケアの診療所を見学されていますね。中本さんのところを見学する方も多そうですね。医院見学について教えていただけますか？

A これまでご縁がありまして、たくさん医院の見学に行ったり、受け入れたりしてきました。そんな、見学大好き院長の視点から回答いたします。

【医院見学のメリット】

- ・本やセミナーでは学べない（言語化できない）ことを学べる、体感できる。
- ・スタッフの仕事に対する意識が変わる。
- ・院長が何度提案しても実現できないことが、スタッフと1回の見学をすることで可能となることもある。
- ・社会人としてのマナーが身につく。



・見学した医院の院長やスタッフの皆さんと仲良くなれる。（自分で勝手に「見学外交」と呼んでいます）

【見学時の注意点】

ヘルスケア型診療はスタッフと取り組む診療ですので、実際に診療している風景を見学するべきです。

よって、できるだけ日常の診療風景を見学できるような日程をお願いするといいでしょ。ヘルスケア型として成熟した歯科医院ほど、いつでも快く受け入れてくれる印象です。

見学の日程・時間が決定したら、見学時の服装、上履きの有無、お昼ご飯や診療終了後に会食をするのかどうかなどを事前に確認しておきましょう。

細かいところでは、当日の写真撮影は可能かどうか、車で向かうなら駐車場の有無、着替える場所はあるのかどうか、なども聞いておくといいたいと思います。

【当院の歯科医院見学プロジェクト】

当院の場合、正社員スタッフ（入社2年目以降）は1年に1回以上、診療時間に医院見学へ行くことを年間業務の1つとしています。年初に院長が「見学おすすめ歯科医院リスト」を配布し、その中から自身の取り組みに対する答えが見つかりそうな医院を選んでもらいます。

このリストですが、事前に院長が単独で見学に行き、スタッフにどんなところを見てもらいたいのかを記入してあります。よって私自身は単独で医院見学に行くことが多いです。

見学先の院長に私が連絡をとり、スタッフの見学を受け入れていただけることになれば、あとはスタッフ自らが連絡をとって見学の準備をしていきます。

ここもスタッフ自身が取り組むことで社会人としてのマナーを身につけ、主体性をもって見学に取り組むことができるのではないかと考えています。

【見学を受け入れる側として】

当クリニックは、完璧なヘルスケア・クリニックではないので、あまり見られたいところもたくさんありますが、それをスタッフの意識改善や改革の原動力にうまく利用させてもらっています。次に見学者が来られるまでに、ここをなんとかしておこう！という感じです。

ですから、見学時に「ここは改善した方がいいな」と感じた部分は遠慮なく言ってもらえ

ると大変助かります（実際は改善点を聞いても、答えてもらえないことが多いです…）。

また、どんなところを見学したいのか、どんなところを教えてくださいたいのか、などをリストアップして事前に送ってもらえると、それに対して資料を準備したり、説明できるスタッフの予定を工面したりといろいろ準備ができて、さらに有意義な見学にできるのではないかと思います。

【兵庫ヘルス式！ 神戸弾丸見学ツアーについて】

ちょうどこの原稿を書いているときに、東京から M 先生が「神戸弾丸見学ツアー」で来院されたので、その日程を公開しておきます。

東京の M 先生はお盆休みを早めに取得して歯科衛生士の方と参加されました。

1 日目（金曜日）

- 8:30 新神戸駅到着 レンタカーで神戸市北区の西すずらん台歯科（当院）へ
- 10:00 ~ 13:00 西すずらん台歯科を見学
- 13:00 ~ 13:30 昼食（お弁当を中本と一緒に院内で）後、神戸市西区の丸山歯科へ移動
- 14:30 ~ 18:00 丸山歯科を見学
神戸市内のホテルに宿泊

2 日目（土曜日）

- 10:00 ~ 18:00 神戸市灘区の大西歯科を見学
- 19:00 ~ 21:00 神戸市内で M 先生を囲み、兵庫ヘルスの有志で会食
- 22:00 新神戸駅から帰京

M 先生の感想

各医院ともヘルスケアをベースにしてそれぞれの個性が見られて非常に刺激になりました。関東では使用者の少ないウイステリアを実際に使用しているのを見ることも目的の一つでしたので大変参考になりました。

画像データの管理は一度システムを決めてしまうと移行が難しいので、よく検討する必要があると思います。

※掲載したツアー内容は一例です。ご要望、滞在時間に合わせて各医院を組み合わせてコーディネートします。

「神戸弾丸見学ツアー」のご相談は…

兵庫ヘルス 丸山和久まで (k-maru@nn.ij4u.or.jp)

さあ皆さん、医院見学に出かけましょう！



○ヘルスケアミーティング 2019

ヘルスケアだヨ！ 全員参加

日時：2019年10月13・14日

場所：秋葉原コンベンションホール

○禁煙支援歯科衛生士育成ミーティング

日時：2019年10月14日14:00～

場所：秋葉原コンベンションホール

参加費：無料（要事前登録）

○歯科診療データ研究会、兵庫ヘルスケア共催 神戸ミーティング 2019

「診療データとICTで歯のヘルスケアが変わる」

日時：2019年11月14日(木)10:00-16:00

場所：神戸市TKP三宮ビジネスセンター

参加費：1人7,000円（歯科衛生士・

医院スタッフ5,000円）昼食弁当込み

その他：服装は普段着。前日と終了後に懇親会を予定

申し込み：ふじわら歯科医院

広島市安佐南区中筋3-29-23-2F

TEL. 082-830-5300 FAX. 082-830-5313

E-mail : natsuki@kk.ij4u.or.jp

○兵庫ヘルス 「下野先生が答える、歯周治療への疑問」 & 「大西歯科で行われているSRPの実際」

日時：2020年3月15日

場所：千里ライフサインエンスセンター

2015年2016年と開催した岡先生&藤木先生の歯周治療に関する講演会の第3弾。講演録をお持ちの方も多いと思います。医院で取り組む歯周治療の考え方や目標を示してもらった2015年、歯周治療の進め方と衛生士のレベルアップについて教えてもらった2016年をもとに、2020年は下野正基先生をお迎えして私たちの疑問に答えていただきます。「SRPによる治療は長い接合上皮で脆弱だ」「不良肉芽は除去すべきではない」という定説に対して、長年臨床経過を積み上げてきた立場から疑問が示されましたが、今回下野先生から組織学的にご説明をいただきます。

歯周治療には規格化した資料採取、データ管理、患者教育、DHの技術力、メンテナンス、チームワークなど医院に欠かせないものが満載されています。ですから歯周

治療を行っていくと長い視点で見る姿勢が根付きう蝕治療も含め医院が大きく変わります。今回はその理論的な背景を学ぶよい機会になると思います。

また午後からは私たちが目標にしている大西歯科で行われているSRPの実際を、動画を交えて余すところなくご教示いただきます。お楽しみに。

今秋発行される「ホームデンティスト・プロフェッショナル第三巻」と「下野先生に聞いてみた(1)」(2017年クインテッセンス出版刊)も合わせてお読みください。

申込受付：次号ニュースレターで案内いたします。



ヘルスケア歯科医院 ちよっと 拝見します



新・リレー連載 7

阿部敬典（徳島市開業 あべ歯科医院）

こんにちは。徳島で開業して25年目のあべ歯科医院です。

私は徳島大学歯学部を卒業後、大学小児歯科で5年間勤務しました。その後、兵庫県・楠歯科医院での2年間の勤務を経て、徳島市の田舎の住宅地に開業しました。マンションと1戸建住宅が集まっていますが、周りのはのどかな農村地帯がひろがっています。近所にある二つの小学校はどちらも1学年ひとクラス、といえばイメージしていただけるでしょうか。

私は、空気と食べ物がとても美味しい徳島が大好きです！車で1時間も走れば、日本一の清流穴吹川があります。こんなに素晴らしい徳島に住んでいる人々の口腔内を変えたい！そう思い続けています。

あべ歯科は、大学の1年後輩の家内（歯科医師）と歯科衛生士3人、ユニット3台でスタートしました。では25年の間にあった二つの大きな出会いについてお話します。

一つ目は、勤務医としてお世話になった歯周病専門医・楠雅博先生が始められたADFスタッフミーティングとの出会いです。25年前の初回から参加させてもらっています。スタ



往診車



ッフ自身が1年間にあった臨臨床的なこと、それに付随して学びたいこと等を毎回2、3題発表してきました。最初は4人で始めたADFも、今では150名以上の参加者があります。今年のADFが第27回ですから、単純に計算して25年で約60題の発表をしてきました。スタッフにとって発表の事前準備が大変であるにもかかわらず頑張ってくれてきたのは、発表を経験することで次の1年につながるやりがい、モチベーションが得られるとスタッフ自身が肌で感じているからに他ならないと思います。発表にいたる準備期間は、患者さんを治していく過程で何が足らなかったのか、どうすべきだったのかを考えるととても貴重な時間になっています。（発表演題はあべ歯科ホームページに掲載しています）

—— つ目はもちろんヘルスケアとの出会いです。8年前、—— 初めて兵庫ヘルスに参加して藤木省三さんとお会いしました。大西歯科を見学させていただいた時の衝撃は今でも忘れません。その当時、私たちにはリスク管理という意識がありませんでした。あべ歯科には何が足りないのか、何を目標にどうリスク管理をしていけばいいのかを考えるととても貴重な機会でした。1年後におかげさまで認証歯科診療所になることができました。認証取得に至る過程が大切だよと藤木さんがおっしゃるように、まさにその通りでした。このことはADFの発表に至る事前準備がスタッフを成長させてくれて

いるのと同じだと感じました。若い方にはぜひ認証を目指して取り組んでもらいたいと思います。ただ認証＝ゴールではありません。スタートラインに立ったのだからこれからこの道でがんばりなさい、と言われていたことだと思っています。

あべ歯科にとってヘルスケアの考えとは、「口腔内の現状を正確に把握し、患者からの聴き取りも含めて何がリスクかを考え、患者自身がモチベーションアップできるような言葉を選びながら、最善で最小の治療を実施した後、その患者にとって最適でもっとも効率的な予防方法で長期にわたって安定した状態を保っていく」ことだと考えています。今ではその考え方が来院患者に浸透しつつあり、初診患者の多くは、“健診をお願いします。痛いところはないです”“できるだけ歯を削らない、できるだけ抜かない歯医者”と聞いて



17 年前



現在！

来ました” “しっかり診てもらいなさいと家内から言われてきました” “スタッフが変わらないから安心して診てもらえるよと聞いて来ました” 等々我々が理想とする考え方に共感してくれています。

またメンテナンス患者が増え、長く診ていると、身体の都合で通院できなくなる方が増えてきます。そこで定期的に個人の居宅や、施設に訪問しています。ADF とヘルスケア、この二つの出会いがあったからこそ、今のあべ歯科があると思っています。

現在あべ歯科は、歯科医師 5 名（内常勤 3 名）、歯科衛生士 11 名（内常勤 7 名）、受付と歯科助手 4 名（内常勤 2 名）、クリーニングスタッフ 3 名、ユニット 8 台で診療に取り組んでいます。10 年以上勤務してくれているスタッフは 12 名、そのうち 20 年以上が 4 人います。

現在キュアとケアの割合は、平日は約 5 : 5、土曜日は 2 : 8 です。1 週間ずっと土曜日の割合になることが目標です。

ここであべ歯科のプチ自慢をいくつか。

その①：3 枚の写真を見てください。17 年前写っている 4 人のスタッフは、（なんと !!）今も元気に勤務してくれています。実は 20 年以上前から 4 人とも勤務してくれているのです！ 9 月から産休に入る 2 人は、来年また復帰してくれる予定です。

開業当初はスタッフの定着に悩んだ時期もありましたが、ヘルスケアを学び、リスク管理を意識したメンテナンスを実施し始めてからは、それまで以上にスタッフが長く続けて働いてくれる歯科医院になりました。

やりがいのある仕事だからというのもあると思いますが、患



2 人もまた帰ってきてくれます！

者さんから、「あなたに口の中のことは任せてるから、赤ちゃん産まれたらまた帰ってきてね」と、言われることが仕事のモチベーション継続につながっているようです。今ではほとんどの場合、結婚出産を経ても復帰してくれています。

その②：患者さんからは毎年のように大根、カボチャ、ピーマン、かぶら、ブロッコリー、スダチ、蜂蜜等をたくさんいただきます。ある時は、

「先生、カブトムシいる？」

「裏玄関に置いとくよー」

と、置いてあったのは農家が収穫に使うカゴにいっぱいのおがくずとカブトムシの幼虫でした！

「ぎょっ！！」

患者さんみんなに愛していただいているなーって思える瞬間です。

その③：昨年9月に、同じ場所に歯科医院を新築しました。2軒隣の仮診療所で9ヵ月間過ごした後、広々とした真新しい診療室にスタッフみんなで協力して引っ越しました。1階の二つの個室と2階の2台のチェアをメンテナンス専用に使っています。

とくに2階は、決して豪華なつくりではありませんが、患者

さんがリラックスしてメンテナンスを受けていただけるような、思い描いていた通りの癒しの空間ができました！
“あべ歯科の2階は行かないとダメ、と職場の同僚から言われて来ました” “えっ！今日は2階なの？ 初めてー♡” “2階は別料金？” などなど患者評は上々です。

なんととっても生き生きと動いてくれているスタッフを見て、新しい診療室にしてよかったと痛感しています。

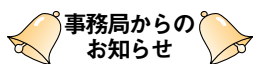
あべ歯科は田舎にあって、子どもさんのいるスタッフがたくさんいますので、都市部中心に開催されるセミナーや学会参加はとても大変です。来てもらいたいと感じた講師には、積極的にプライベートセミナーに来てもらってます。また若い歯科衛生士はヘルスケア認定歯科衛生士の基礎コースで学ばせてもらっていますし、5年以上あべ歯科勤務している歯科衛生士は、歯周病学会の認定衛生士の資格を取ってもらうことを目標にしています。まだまだやらなければならないことがたくさんあります。が、我々歯科医師もスタッフとともに向上心を持って頑張っていきたいと思います。今後ともご指導どうぞよろしくお願いいたします。



9ヵ月間過ごした仮診療所



徳島といえば阿波踊り。新人 DH が先輩を踊り指導



2020 年度会費口座振替について

2020 年度会費の自動引落としは 10 月 28 日です。
口座振替のお申し込みをされた方は、指定された口座をご確認ください（9 月 17 日までに受付された方に限ります）。

お申し込みのなかった方には、2020 年度会費の振込用紙を同封しています。お早めにお近くの郵便局よりお振り込みください。
なお、口座振替のお申し込みをされた方で、振込用紙が同封さ

れていた場合は、行き違いの場合もございますので、事務局までお問い合わせください。2020 年度の引落としがなかった場合は 2021 年度会費より自動引落としとなります。

毎年 10 月 27 日に翌年度会費が自動引落としとなります。
（休日にあたる場合は翌営業日）

ヘルスケア フォーラム

実践セミナーフォロー・アップセミナー

2019年8月4日 東京八重洲ホール 地下ホール

まずは、モデルクリニック探しを
始めます



田幡 壮（朝霞市開業）

今回は、認証審査のプレゼンを擬似的に発表させていただきました。

今回特に感じたのがデータ管理の重要性とその活用性の可能性。自医院の状況を客観性をもって知ることの大切さ、そのデータにどのような意味を持たせて活用するかは自分次第です。

数字は嘘をつきません。データを出すほど疑問が湧いてきます。

実際今まで手をつけていなかったデータ管理の必要性を強く、感じたのですが、やりたいことだらけの、忙しい日常の中で、この部分に割く時間の必要性を感じつつも、完成形が見えないからか、後回しになっている現状があります。

データ管理に必要なこととしては、過去のデータの洗い直し、データを入力していくためのシステム構築、そして診査診断の基準の標準化です。

これらを具現化していくときに、当医院では現在デンタルテンを使用しているので、それを活用してデータを活用し、ヘルスケア診療をしているクリニックを見学し、模倣させてもらうのが近道だと思つので、まずはデンタルテンでデータ管理をしているモデルクリニック探しを始めます。1年後を目途にデータ管理を軌道にのせていきます。

まずは、現時点でできることから始めていきます。

自分たちも頑張るぞ！ というモチベーション



丸山 莉子（丸山歯科医院勤務）

8月4日のフォローアップセミナーに、副院長の丸山修平が急用で不参加となったため、急遽代わりに発表をさせていただきました。

私は丸山歯科に約2年常勤で勤め、5月に出産し現在育休中です。しばらく仕事から離れていたのと慣れない発表ということで、緊張しながらの会場入りでした。今回は、認証審査の際のスライドを模しての発表をそれぞれの医院が行いました。自身の発表では緊張するかと思いきや、藤木省三先生や見慣れた皆さんの顔があったこと、ヘルスケアならではのアットホームな雰囲気、そのおかげで楽しく発表することができました。このような自分たちでスライドを作成する機会を与えていただき、データを出して客観的に評価をすることで当院の現状が見えてきました。当院での診療にどれだけの患者さんがついてきてくれているか。まずは知ることから今後の対策が立てられると思います。調べ上げたデータは医院での財産になったと感じました。今後もデータを取り続け、比較することで診



療の質を高めていきたいです。

また他院の方々の発表を聞くことにより当院でも真似したいことの発見があったり、自分たちも頑張るぞ！ というモチベーションにもなりました。今後の医院づくりの目標として認証診療所になるために必要な部分はもちろんですが、大西歯科のようなドクターとスタッフが対等にいられる、みんなが意見を言い合えるような環境作りをしていきたいと感じました。

今回参加してみて認証診療所になる意義や当院に取り入れていきたいことなど、色々な気づきがありました。一番心に残っているのは藤木先生のデンタルX線の質に対する熱意でした。そして久々にヘルスケアの皆さんにお会いでき、温かい気持ちになりました。仕事も育児も頑張ろうとリフレッシュした気持ちで帰ることができました。

最後に藤木先生および参加された皆様方、同じ時間を過ごせたことを大変嬉しく思います。本当にありがとうございました。



会場：ホール A 2F コンベンションホール

座長：藤木省三・中本知之

10:30 ~ 11:10 認証後も「とりあえずやってみよう」を継続中！ 山本 修平（やまもと歯科クリニック・兵庫県神戸市）

11:20 ~ 12:00 生涯にわたる口腔管理を目指して 榎富 健二／榎富由佳子（榎富歯科医院・徳島県板野郡藍住町）

（昼食休憩）

座長：高橋 啓・寺田昌平

13:30 ~ 14:10 認証診療所となった今——私たちのチーム医療 木下 真千子（デンタルフリーまちこクリニック・三重県鈴鹿市）

14:15 ~ 14:55 認定衛生士になった今 前出 彩華（デンタルフリーまちこクリニック・三重県鈴鹿市）

座長：高橋 啓・澤幡佳孝

15:10 ~ 15:50 歯周治療におけるブラッシング指導の勘所 丸山 俊正（まるやま歯科・福岡県福岡市）

15:55 ~ 16:35 CRASP 実施医院オフ会&ソフト体験コーナー 丸山 和久（丸山歯科医院・兵庫県神戸市）

会場：ホール B 2F コンベンションホール

座長：杉山精一・宇田川義朗

10:30 ~ 11:10 歯科知識のない方でもわかるヘルスケアの未来像 藤原 夏樹（ふじわら歯科医院・広島県広島市）

11:20 ~ 12:00 根管治療後の治療状況調査とその対策後を調査して 岡 恒雄（医療生協 玉島歯科診療所・岡山県倉敷市）

（昼食休憩）

座長：岡本昌樹・齋藤 健

13:30 ~ 14:10 南太平洋サモアでヘルスケア 浦崎 裕之（浦崎歯科医院・石川県金沢市）

14:15 ~ 14:55 歯科衛生士リクルート事情 <続編> 山田 美穂（太陽歯科衛生士専門学校 夜間部専任講師）

座長：岡本昌樹

15:10 ~ 15:50 ヘルスケア歯科診療所のスタッフマネジメント 沼澤 秀之（沼澤デンタルクリニック・東京都小金井市）

15:55 ~ 16:35 歯科助手だってチームの一員でしょ？ 高見 由紀恵（沼澤デンタルクリニック・東京都小金井市）

会場：5A 5F カンファレンスフロア

座長：渡辺 勝・武内義晴

13:30 ~ 14:10 マイクロスコープとヘルスケアの相性 佐藤 哲大（ノエル歯科クリニック心臓血管外科歯科・愛媛県松山市）

14:15 ~ 14:55 エンドとお話好き歯科医師の目指すヘルスケア型歯科診療所 安岡 大介／横田 茜（ミライノデンタルクリニック・兵庫県加東市）

座長：渡辺 勝・国井一好

15:10 ~ 15:50 ヘルスケアとの出会い —— 大きくゆっくり舵を切って 秋山 廣輔（あきやま歯科クリニック・兵庫県明石市）

15:55 ~ 16:35 認証診療所を事業承継して 関 陽介（糸島せきデンタルクリニック・福岡県糸島市）

会場：5B 5F カンファレンスフロア

座長：千草隆治・高木景子

13:30 ~ 14:10 悩むよろこび —— 認証プレゼンテーションを通じて 古市 貴暢（古市歯科医院・香川県高松市）

14:15 ~ 14:55 ヘルスケア歯科診療を実践すると患者は自然と増える 伊東 佑記（白木原歯科・福岡県大野城市）

座長：千草隆治・鈴木正臣

15:10 ~ 15:50 認証ミーティング から見えた当院の取り組むべき課題 曾野 偉錬（その歯科クリニック・兵庫県神戸市）

15:55 ~ 16:35 ヘルスケアからの気づき、小児発育不全に対する取り組み 大塚 杏菜（その歯科クリニック・兵庫県神戸市）

■ ■ 会場：5C 5F カンファレンスフロア

座長：林 浩司・大井孝友

13:30 ~ 14:10 開業前からヘルスケアを知り開業の準備をする大切さ

吉野 仙峰（よしの歯科・兵庫県神戸市）

14:15 ~ 14:55 アシスタントとしてできること

田中 優歩（桂川歯科医院・福岡県嘉穂郡）

座長：林 浩司・足本 敦

15:10 ~ 15:50 ヘルスケア歯認定科衛生士としての仕事のやりがい

山下 真由（たるみ歯科クリニック・兵庫県宝塚市）

■ 会場：ホール A・B 2F コンベンションホール

17:10 ~ 18:10 全員交流会

■ ■ 18:30 ~ 懇親会（希望者、参加費別途）（別会場：ROSE&CROWN 秋葉原店；東京都千代田区外神田
1-18-18 秋葉原駅前プラザビル 2F 会場となり）

10 / 14

Day 2

8:30 開場 8:45 開演 8:45 ~ 12:50

■ 会場：コンベンションホール 2F

座長：中本知之

8:45 ~ 9:00 表彰：認証診療所，認定歯科衛生士，4年目歯科衛生士

9:00 ~ 9:25 CRASP を取り入れたカリエスリスクマネジメント

杉山 精一（杉山歯科医院）

9:25 ~ 9:50 CRASP 体験ワーク

落合 真理子（たるみ歯科クリニック）

9:50 ~ 10:20 CRASP アプリの紹介

丸山 和久&藤木 省三（丸山歯科医院・大西歯科）

（休憩）CRASP アプリの体験

10:30 ~ 11:10 飲物・食品とう蝕の関係を理解するために

松久保 隆（東京歯科大学名誉教授）

11:10 ~ 11:30 小児若年者に CRASP を使ってみて

澤幡 佳孝（おひさま歯科クリニック）

11:30 ~ 11:50 小児から高齢者まで CRASP を使ってみて

大本 幸加（丸山歯科医院）

11:50 ~ 12:10 CRASP を取り入れた症例 —— 導入までの経緯から

林 浩司（はやし歯科医院）

12:10 ~ 12:50 ディスカッション

演者全員 8 人が登壇

10 / 13-14

Day 1-2

展示開始 13 日 10:00 ~ 展示終了 14 日 13:00

■ 会場：ホワイエ 2F

ポスター展示 / 法人会員展示

座長：藤木省三・中本知之

10:30 ~ 11:10 認証後も「とりあえずやってみよう」を継続中！

山本 修平（歯科医師）（やまもと歯科クリニック・兵庫県神戸市）

当院は2018年に認証診療所となりました。2014年に入会してからヘルスケア型診療へ移行するため最短の3年間でさまざまな改革を急いで行ってきました。認証取得後は歯科衛生士の技術力向上のための取り組みはもちろん、滅菌消毒について話し合い、ごみ減量に取り組み、スタッフの働き方を見直しました。患者さんのためにもっとできることはないか、もっと働きやすい職場にならないか。

母校北大の建学の精神であるフロンティアスピリッツを胸にスタッフとともにチャレンジした、この1年の経過を報告したいと思います。

11:20 ~ 12:00 生涯にわたる口腔管理を目指して

榎富 健二／榎富由佳子（歯科医師）（榎富歯科医院・徳島県板野郡）

日々目の前にあるう蝕や歯周病に対して歯科医も歯科衛生士も水準の高い管理ができるように切磋琢磨しているなかで、生涯健康に過ごすためにはそれだけでは不十分で、機能や背景のコントロールが必要ではないかと痛感する。そのためにさまざまなスペシャリストの手と目を歯科医療現場に介入してもらう取り組みが必要と思う。その例として始めた、0歳からの離乳食指導、高齢者への運動や嚥下のスクリーニング、内科医による全身疾患のスクリーニングなどの取り組みを紹介する。

座長：高橋 啓・寺田昌平

13:30 ~ 14:10 認証診療所となった今 —— 私たちのチーム医療

木下 真千子（歯科医師）（デンタルフリーまちこクリニック・三重県鈴鹿市）

2018年に認証診療所となりました。合格はしましたが、認証診療所となった今も、さまざまな医院改革がいつも目の前にある状態です。う蝕を予防したい、歯周治療も確実にやりたい、理想と現実の狭間で、スタッフたちとともに、どこを目標にし、どのように進んでいくのか。そのなかで、来院される患者さんの健康を守り育てるために、生き活きと仕事ができる診療所作りを目指す、私たちのヘルスケアな日々をお伝えし、みなさんと共有してもらえれば幸いです。

14:15 ~ 14:55 認定衛生士になった今

前出 彩華（歯科衛生士）（デンタルフリーまちこクリニック・三重県鈴鹿市）

入社1年目で歯科衛生士育成基礎コースに行かせていただき認定衛生士になるまで色々な苦労がありました。ですが、認定衛生士になるまでの道りは自分を大きく成長させてくれたので、認定を取得してよかったと思っています。ここをゴールとせず基本ができるようになった今だからこそ、ここからもっともっと成長していきたいと思っています。これからはコースのスタッフとしても関わらせていただきます。これまでの心境の変化や、やってよかったことなどをお話させていただきたいと思っています。

座長：高橋 啓・澤幡佳孝

15:10 ~ 15:50 歯周治療におけるブラッシング指導の勘所



丸山 俊正（歯科医師）（まるやま歯科・福岡県福岡市）

歯周治療において、ブラッシング指導が大事であることは言うまでもありません。しかしながら、その手技や伝え方は医院によってさまざまであり、正解がないと言えます。歯列や器用さが人によって違うのだから仕方がない気もするのですが、やはり何か指標になるものがあったら良いような気がします。われわれの医院でもこれまでブラッシング指導に取り組んできましたが、いまいち成果が上がらない日々が続いていました。今回、ブラッシング指導について見直す機会を得たので、自院での取り組みを踏まえ、皆さんと検討してみたいと思います。

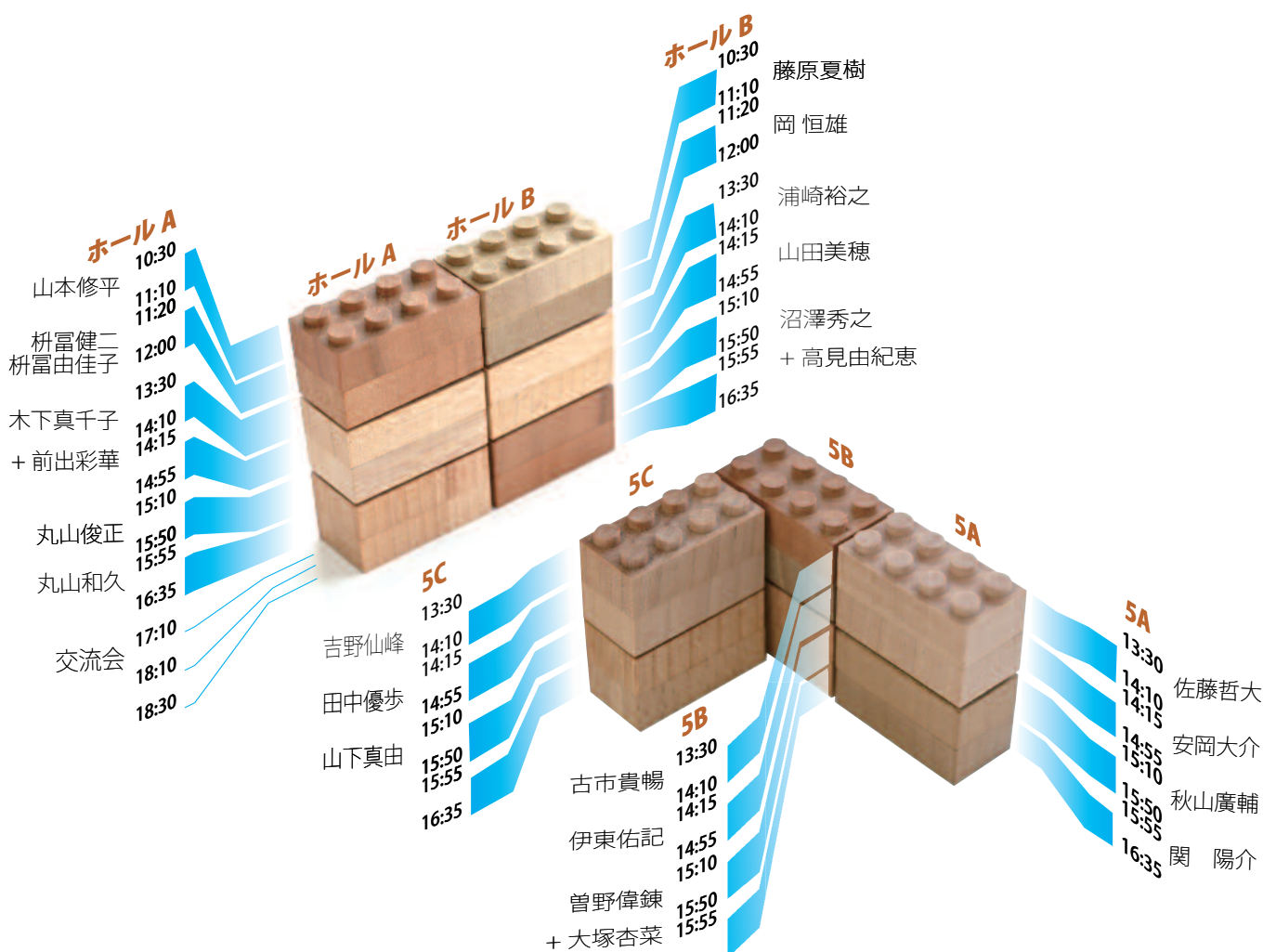
15:55 ~ 16:35 CRASP 実施医院オフ会&ソフト体験コーナー



丸山 和久（歯科医師）（丸山歯科医院・兵庫県神戸市）

このコーナーでは、プレゼンテーションはしません。学会内 CRASP 普及実行委員会のメンバーが顔を揃えています。翌 2 日目のテーマである CRASP に関して、実施医院間での情報共有とディスカッション、また実施予定医院からの疑問、質問に答える場を提供します。CRASP の項目の一つである CAT21 の展示と、近々リリース予定の CRASP ソフトを体験できるように準備中です。

CRASP ~ Caries Risk Assessment Share with Patients



座長：杉山精一・宇田川義朗

10:30 ~ 11:10 歯科知識のない方でもわかるヘルスケアの未来像

藤原 夏樹（歯科医師）（ふじわら歯科医院・広島県広島市）

歯科医院の診療内容は、悪化した歯の治療から悪化を防ぐ健康管理（ヘルスケア）にシフトしています。歯科のう蝕や歯周病は慢性病なので、歯の健康管理も長期的視点に立って評価し、患者にも正しく病状を伝える必要があります。また健康管理は患者の生活習慣に大きく影響されるため、患者への伝え方が重要となります。

当院では歯科診療で扱う非常に多くの情報をデジタル化して、長期的評価を行い、患者との情報共有に役立てています。その診療システムの紹介と、さらに情報技術の発展とともに歯科診療はどう変化していくか考察します。

11:20 ~ 12:00 根管治療後の治癒状況調査とその対策後を調査して

岡 恒雄（歯科医師）（医療生協 玉島歯科診療所・岡山県倉敷市）

歯を長期にわたって維持していくためには、う蝕・歯周病対策をベースとしながらも歯科疾患のそれぞれの進行度に応じた適切な対処が要求される。適切な処置がされているかどうかを評価するためには、自院での臨床をデータとして把握することが必要である。そしてその改善点を見出し実践し、再度データとして確認するというサイクル（PDCA サイクル）を繰り返すことが、臨床成績の向上につながると考える。経験だけに頼ってはい自分の行っている処置の全体像は見えてこない。今回根管治療の調査を通してこの点を考察したい。

座長：岡本昌樹・齋藤 健

13:30 ~ 14:10 南太平洋サモアでヘルスケア

浦崎 裕之（歯科医師）（浦崎歯科医院・石川県金沢市）

サモアの小学校で約6年前からフッ素洗口を指導してきました。サモア人歯科医師、学校の先生ならびに住民たちに、週一回法によるフッ素洗口を提案したところ、受け入れていただきました。対象は8学年（6～13歳）、生徒数約150名です。6年間でう蝕は著しく減少しました。現在サモア全国の小学校へのフッ素洗口の普及にめどが立ち、今後は歯周治療のレベルアップにサモア人とともに取り組みたいと考えています。これまで行ってきたフッ素洗口の経過および結果、今後のこと、外国でのボランティア活動などについて紹介いたします。

14:15 ~ 14:55 歯科衛生士リクルート事情 <続編>

山田 美穂（歯科衛生士）（太陽歯科衛生士専門学校 夜間部専任講師）

2015年に「細かすぎて読みにくい、でも興味深い」と皆さまより評価いただきました。学生と医院側とのアンケートのポスター発表から早4年。歯科衛生士のリクルート事情はまだまだ課題が多い、私自身も学校勤務8年目となり、実習先の医院との情報交換や学生からのヒアリング、そして教育現場にいることが増えてきました。

今回は学生と密に関わる立場から、現状の歯科衛生士不足について皆さんと一緒に考える時間を作りたいと思います。

15:10 ~ 15:50 ヘルスケア歯科診療所のスタッフマネジメント



沼澤 秀之（歯科医師）（沼澤デンタルクリニック・東京都小金井市）

ヘルスケア歯科診療所はかねてよりスタッフ主体の医院マネジメントを必要とする診療スタイルです。メンテナンスに移行する患者の数が増えれば必ず来院患者数は増え、増床、スタッフの増員も必要不可欠となってきます。しかし、スタッフの退職などが相次げば成長しようとする医院運営にブレーキがかかってしまいます。ではどうしたらスタッフが長期にわたり、やりがいをもって医院のために力になってくれるのでしょうか？ 10年前スタッフ3人だった医院が、30人体制の医院に成長してくる過程で見えたヒントをお伝えしたいと思います。

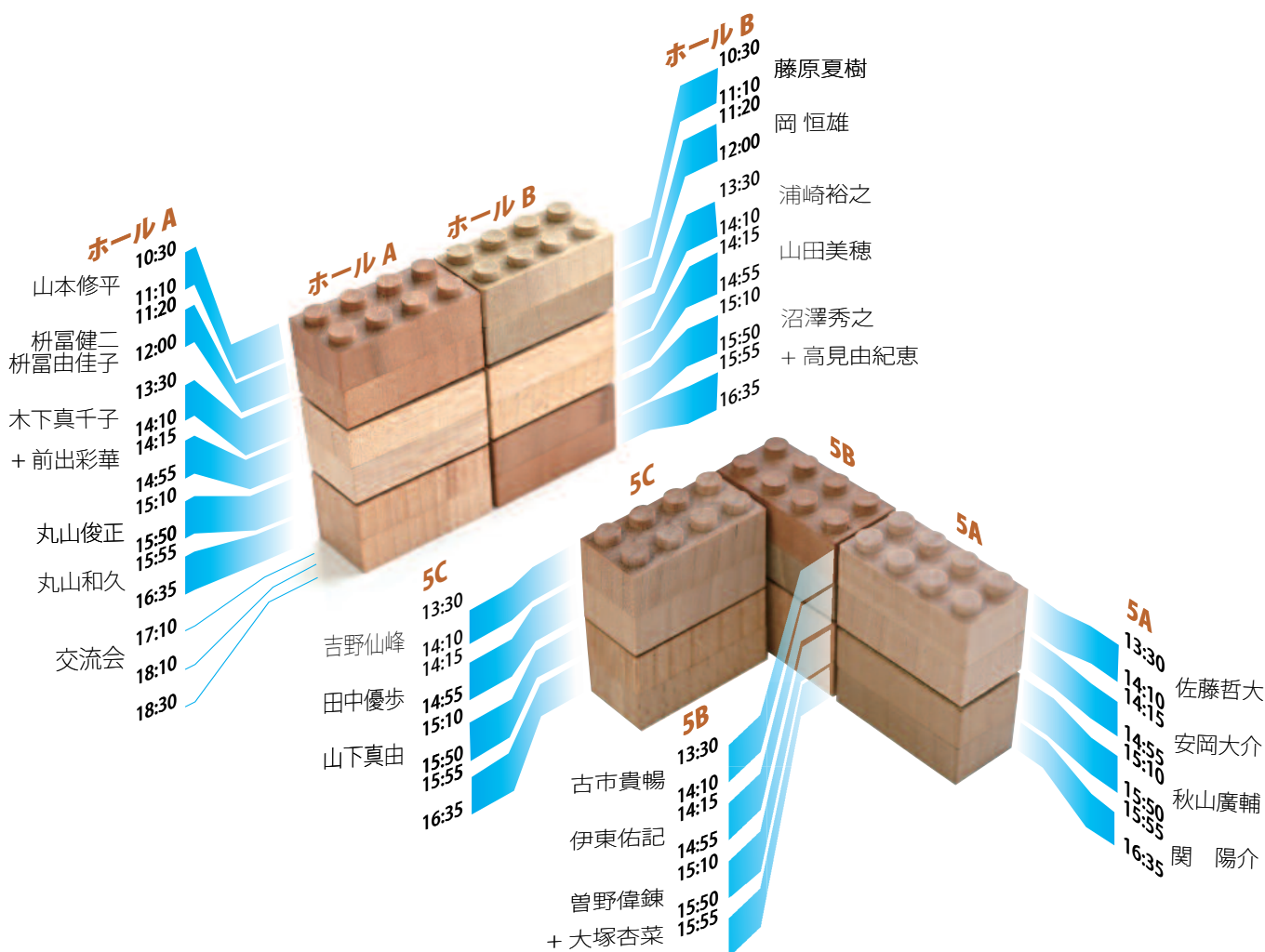
15:55 ~ 16:35 歯科助手だってチームの一員でしょ？



高見 由紀恵（歯科助手）（沼澤デンタルクリニック・東京都小金井市）

連日多種多様なセミナーが開催されているなかで歯科助手に向けたセミナーはきわめて少なく、歯科助手の必要性を否定されているような感覚でした。

ヘルスケア診療はチーム医療でもあり、歯科助手も大きな役割を担っています。患者視点に最も近い歯科助手には他の医院と共有したい情報がたくさんあります。そこで私たちは現場の悩みを共感してもらえらる場、情報を共有する場として歯科助手の勉強会を作りました。ここでの交流は歯科助手のモチベーションの維持向上につながり、それがいずれスタッフが辞めない歯科医院＝患者様の安心へとつながるのです。



座長：渡辺 勝・武内義晴

13:30 ~ 14:10 マイクロスコープとヘルスケアの相性



佐藤 哲大（歯科医師）（ノエル歯科クリニック心臓血管外科歯科・愛媛県松山市）

しっかりとした基礎的診断、記録、情報共有、正確な基本治療。そもそもマイクロスコープとヘルスケアの相性は非常に高いと考えます。当院では修復から補綴処置、歯周外科、埋伏抜歯、歯根端切除、インプラントまですべての治療を保険、自費に関わらずマイクロスコープ下で行っています。理由は、基本術式の精度をできる限り上げるため、決してMB2の発見や歯根端切除術のみに使用するためではありません。マイクロスコープは特別な治療に使用するわけではなく、自分のメガネ（コンタクト）として常に使用することこそ意味があると考えています。その実際を、動画を交えながら紹介したいと思います。

14:15 ~ 14:55 エンドとお話好き歯科医師の目指すヘルスケア型歯科診療所



安岡 大介（歯科医師）（ミライノデンタルクリニック・兵庫県加東市）

横田 茜（トリートメントコーディネーター）（ミライノデンタルクリニック・兵庫県加東市）

予防型歯科診療のうえに、すべての歯科治療が成り立つ。

当院はヘルスケア型診療所を目指すうえで、「ラバーダム」を用いた治療と「コミュニケーション」に重きを置いている。

『唾液による感染』の可能性が高い根管治療は、ラバーダム防湿がその歯の予後に影響があることは周知の事実と思われるが、導入に際してコスト面などさまざまな障壁が挙げられる。

現在、比較的安価にラバーダムを用いた歯科治療が可能となった。歯科治療において診断は歯科医師しかできないが、一般的な歯科医学的知識や、患者が抱えている疑問や不安など治療だけに限らず、患者さんとのコミュニケーションも「医院の総合力」と考える。

座長：渡辺 勝・国井一好

15:10 ~ 15:50 ヘルスケアとの出会い——大きくゆっくり舵を切って



秋山 廣輔（歯科医師）（あきやま歯科クリニック・兵庫県明石市）

これから開業を考えている先生方や開業後間もない先生方にとって、医院のコンセプト決めやスタッフ教育の方法など悩みは多くあると思います。

近年、患者の予防意識の拡大やかかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所（か強診）の施設基準により、歯科衛生士の存在やスキルアップの重要性、医院スタッフをマネジメントするチーム医療の重要性が増しています。

今回、開業前からヘルスケアと出会い、開業とともに歯科衛生士の教育やスキルアップなど少しずつ舵を切りながら、スタッフとともに「ホームデンティスト」を目指す当院の取り組みを発表したいと思います。

15:55 ~ 16:35 認証診療所を事業承継して



関 陽介（歯科医師）（糸島せきデンタルクリニック・福岡県糸島市）

2019年4月、当院は認証診療所であるんだ歯科医院を事業承継し、開業しました。前院長との出会いはヘルスケアセミナーでした。ヘルスケア診療に感銘を受け勤務医として飛び込んだ認証診療所。当時は順風満帆に引き継げると思っていたのですが、現実はその甘くはありませんでした。理想と現実の違い、既存の体制を変える難しさ、患者さんに比較される不安など、時間とともに悩みも増えていきました。

そして月日は流れ、患者さんとスタッフと医院を引き継ぎスタートして現在半年。勤務医時代から開業そして開業後の今をお話したいと思います。

座長：千草隆治・高木景子

13:30 ~ 14:10 悩むよろこび——認証プレゼンテーションを通じて



古市 貴暢（歯科医師）（古市歯科医院・香川県高松市）

去る7月7日、認証診療所試験を受験し、無事合格することができました。

その試験で発表した歯周病管理症例をこの度、改めて振り返り、治療の進め方、診査、診断の是非を考え直してみようと思います。得てして、毎日繰り返される診療は画一的になり、一つひとつの症例を振り返ることを忘れてしまいます。患者さまと人生を通じて向き合っていく場合、それぞれの症例を深く考える時間が必要となります。

当院で取り組んでいる、患者さまと一緒に「考え」、「悩む」時間を得ること、このよろこびを稚拙ながら紹介したいと思います。

14:15 ~ 14:55 ヘルスケア歯科診療を実践すると患者は自然と増える



伊東 佑記（歯科医師）（白木原歯科・福岡県大野城市）

私は分院長時代にヘルスケア宣言を行い、ヘルスケア歯科診療へと舵を切りました。

そのスタートとなる実践セミナーで認証取得を決意し、その後の認証診療所見学で真似できるところは真似をし、スタッフ全員で口腔内写真の練習をし、認証診療所になるためのシステムの構築をしていきました。

その3年後、採りっぱなしだったデータを集計してみると、認証診療所の平均値に近い数値ができました。ヘルスケアを実践すると自然と患者が増えるという言葉信じてコツコツやると、本当に患者が増え、今年認証取得までたどり着くことができました。

座長：千草隆治・鈴木正臣

15:10 ~ 15:50 認証ミーティングから見た当院の取り組むべき課題



曾野 偉鍊（歯科医師）（その歯科クリニック・兵庫県神戸市）

当院は開業5年目を迎え、この度認証診療所として認定されました。

その認証プレゼンテーションの準備をしていくなかでさまざまな気づきがあり、当院の地域に対する取り組むべき課題の一つが見えてきました。

それは小児の成長発育不全に対する取り組みです。

近年、日本ヘルスケア歯科学会の皆様の活躍もあり、DMF指数が減少傾向にあります。

そこで、逆に増えてきたのが歯並びの相談です。当院では歯並びと健口寿命に密接な関係があると考え、成長期における影響を考察しました。

15:55 ~ 16:35 ヘルスケアからの気づき、小児発育不全に対する取り組み



大塚 杏菜（歯科衛生士）（その歯科クリニック・兵庫県神戸市）

私は今年でヘルスケアに出会い5年目になります。そして、当院も開院して5年目になり、先日認証診療所に認定されました。開院した当初からヘルスケア型でいくという院長の一言から私のヘルスケアも始まりました。スタッフと協力しながらデータの蓄積をし、カリエスのリスク評価を行ううえで小児の発育で気づいたことがあります。

小児の発育に、口腔周囲筋機能は深い関わりがあります。そこで、私なりに取り組んだMFT（口腔周囲筋機能訓練）を紹介させていただきます。

座長：林 浩司・大井孝友

13:30 ~ 14:10 開業前からヘルスケアを知り開業の準備をする大切さ



吉野 仙峰（歯科医師）（よしの歯科・兵庫県神戸市）

私は、2019年6月4日に開業しました。その2年前の2017年に行われた第2回藤木塾に参加し、初めて私はヘルスケアを知りました。そこで、ホームデンティストのプロフェッショナルの6つのKeyとして、

- ①病因論の理解
- ②長く患者とつきあいながら健康維持を支える
- ③規格性のある記録
- ④チーム医療
- ⑤歯科衛生士の育成
- ⑥病因論に基づいた疾患のコントロール

を学びました。

さらに、6つのKeyの下に医院倫理があり、それらの上に質の高い治療があることも学びました。私は、この流れに沿って開業前の研修を行うことでスムーズに開業を迎えることができました。開業前に準備する際に大切なことについて報告します。

14:15 ~ 14:55 アシスタントとしてできること



田中 優歩（歯科アシスタント）（桂川歯科医院・福岡県嘉穂郡）

私は、歯科アシスタントとして働き始めて、今年3年目になります。高校を卒業して就職しましたので、社会人として働くことも初めてでした。最初の頃は手探りの状態でたくさん失敗も経験しました。

臨床において、アシスタントの仕事はもちろん、ドクターがユニットに来るまでの間の時間を使って、「う蝕」「歯周病」「神経の治療」について、アシスタントの立場から、患者さんにプレゼンしながら説明をしています。

今回発表する機会をいただいて、私がこれまで学び、実践してきたことをご報告させていただきます。

座長：林 浩司・足本 敦

15:10 ~ 15:50 ヘルスケア歯認定科衛生士としての仕事のやりがい



山下 真由（歯科衛生士）（たるみ歯科クリニック・兵庫県宝塚市）

ヘルスケア診療所とは知らず、新卒からたるみ歯科に勤務して7年目になりました。

院内では主任を任せられ、歯科衛生士をまとめるのはもちろん、院長やその他スタッフとの架け橋として充実した毎日を過ごしています。また、ヘルスケアの歯科衛生士育成コースに参加し、今ではスタッフとして活動しています。

ヘルスケア歯科衛生士として患者さんと関わる楽しさと難しさを日々感じています。

まだまだ長期症例とはいえませんが、患者さんとの関わりで学んだこと、ヘルスケア歯科学会での活動を通じて感じていることをお話させていただきます。

9:00 ~ 12:50

座長：中本 知之

9:00 ~ 9:25 **CRASP** を取り入れたカリエスリスクマネジメント

杉山 精一（歯科医師）（代表・千葉県八千代市）

2016年に私たちの学会が発表した「カリエスリスクアセスメントに対する見解」に基づいて開発した「CRASP」は、臨床で手軽にう蝕発症に関する要因をチェックできるものです。そのため、小児から高齢者まで幅広い年齢の方のカリエスリスクを把握できます。また、初診・再評価・メンテナンス時に実施することにより、変化するリスクを知ることができます。カリエスリスクを知り、適切な治療を行い、モニタリングすることがカリエスマネジメントにおける重要な治療です。CRASPを活用してカリエスマネジメントの成果をあげていきましょう。

9:25 ~ 9:50 **CRASP** 体験ワーク

落合 真理子（歯科衛生士）（たるみ歯科クリニック・兵庫県宝塚市）

患者さんにCRASPの項目ごとに質問して青黄赤の□にチェックを入れる。それだけなら簡単な作業ですが、CRASPの質問は、たんなる調査ではありません。もう一度、マニュアルの目的、注意点を振り返ってみてください。評価をしない質問もあります。さあ、落合さんのリードで、隣の人と体験ワークです。

9:50 ~ 10:20

CRASP アプリの紹介

丸山 和久（歯科医師）（丸山歯科医院・兵庫県神戸市）

藤木 省三（歯科医師）（大西歯科・兵庫県神戸市）

待望のCRASPアプリの完成発表です。
素人目線で、CRASPアプリの導入、使用法を解説します。休憩時間には、CRASPアプリの体験コーナーを設けます。ふるって、いじってみてください。

10:30 ~ 11:10 飲物・食品とう蝕の関係を理解するために



松久保 隆（歯科医師・東京歯科大学名誉教授）

う蝕は、ショ糖、ブドウ糖および果糖を含む飲食物の摂取によって起こります。これらの糖質を制限すれば、う蝕はほとんど起こりませんが、日々の生活でこれは不可能です。

ここでは飲食物とう蝕発病についての疫学研究結果、口腔内での糖質の動態、食品表示や歯の酸蝕などを解説しながら、表題の内容についてさまざまな話題を提供したいと考えております。参加の皆様の日常のカリエスリスクマネジメントに参考になれば幸いです。

座長：中本 知之

11:10 ~ 11:30 小児若年者に CRASP を使ってみて

澤幡 佳孝（歯科医師）（おひさま歯科クリニック・熊本県熊本市）

CRASP のコンセプトに興味を持ち昨年より試験的に臨床に導入しました。マニュアル作成のお手伝いもさせていただき、スタッフとともに現在まで楽しく進めてきました。

当院の来院者の多くは小児若年者とその保護者になります。この世代には、ほぼ全員に CRASP を実施してきました。総数としてはまだ数少ないですが、これから始めたいと思う皆様に、明日からぜひやってみたく興味を持っていただけるよう実践事例とデータを提示したいと思います。

11:30 ~ 11:50 小児から高齢者まで CRASP を使ってみて

大本 幸加（歯科衛生士）（丸山歯科医院・兵庫県神戸市）

カリエスリスクをう蝕治療にどう活かせばいいのでしょうか？ 歯周治療のように、歯科衛生士の視点でう蝕治療を進めることができないのでしょうか。CRASP を導入すると、歯科衛生士の視点で患者さんとの情報共有が容易になり、患者さんとともにリスクの変化を知ることができます。導入に向けて準備したこと、導入後、変わったこと、歯科衛生士の視点から紹介します。

11:50 ~ 12:10 CRASP を取り入れた症例 —— 導入までの経緯から

林 浩司（歯科医師）（はやし歯科医院・栃木県真岡市）

当院ではカリエスリスクを診査診断するうえで、最も有効な方法として問診の重要性を考え ICDAS・Caries Assessment Chart の問診項目を使用してきた。

2016年11月に当学会から「カリエスリスク・アセスメント」についての見解が公表され、CRASP が提案されて早3年目になる。当院でも2018年6月から年齢を問わず原則すべての患者に実施し、月1～2回、院内ミーティングにより各々担当衛生士の症例を院内全体としてフィードバックするシステムを実施している。今回は、特記すべき症例を2、3ケース紹介したい。

12:10 ~ 12:50

質疑応答 司会：中本 知之

CRASP に関する半日の議論について、全部まとめた質疑の時間です。

①資料採得時のカメラの重要性

その歯科クリニック (曾野 偉鍊)

ヘルスケア診療では規格性のある資料が大変重要であると考えられております。そのため、毎日の診療では何枚も口腔内写真を撮影されており、日々そのデータの蓄積を行い、検証を行っております。ヘルスケアではその口腔内写真を撮影するカメラはサンフォートのカメラが推奨されております。ですが、さまざまなメーカーからカメラが販売されており、その性能や画像は多種多様です。今回、その口腔内写真を撮影するカメラに焦点を絞り、様々なカメラについて検証、考察しました。

②最近のお子さんに歯間空隙認めない説を検証してみた

ミライノデンタルクリニック (安岡 大介)

乳歯列のお子さんのお口の中を見た時に「発育空隙がないなあ」と思うことはないだろうか？ 「乳歯列にみられる歯間空隙に関する研究」(難波 1981)において空隙量による乳歯列の形態的考察が行われ「発育空隙の総量が2 mm以下の場合、永久歯列となった際に60%は不良となる」と述べられている。「歯間空隙量の全く認められない」ものは、1981年において2%であったが、当院にて記録した結果60%であった。親御さんより「うちの子、歯並び大丈夫ですか」と聞かれた際について「アゴも大きくなりますから様子見ましょう」と言いがちであるが、現状を把握したうえで適切な対応が必要となるのではないだろうか。

③歯科からはじめよう！ 禁煙支援

白木原歯科 (松永 麗)

「紙巻タバコ」「加熱式タバコ」「電子タバコ」の違いがみなさんは分かりますか？ タバコは身体に悪いということは、誰もが知っています。しかし、近年増えてきたアイコスなどの加熱式タバコには害がないと誤解している人が多くいます。タバコが身体に与える害、加熱式タバコにも害があることや口腔に与える影響を正しく伝え禁煙支援を行うことが重要と考えています。白木原歯科における禁煙への第一歩として「電子タバコ」を用いた禁煙支援のシステムを紹介します。タバコは身体に悪いということは、誰もが知っています。しかし、近年増えてきたアイコスなどの加熱式タバコには害がないと誤解している人が多くいます。タバコが身体に与える害、加熱式タバコにも害があることや口腔に与える影響を正しく伝え禁煙支援を行うことが重要と考えています。白木原歯科における禁煙への第一歩として「電子タバコ」を用いた禁煙支援のシステムを紹介します。

④当院で行っているカリエスリスクコントロールの一例

川嶋歯科医院 (林 裕美, 渡辺 重美子, 小林 智美, 吉森 真由美, 川嶋 礼子, 川嶋 剛)

カリエスリスクコントローラーやペリオのリスクコントロールは、ヘルスケア診療を行うにあたり、欠くことのできない重要な要素である。そこで今回、小学生から中学生にかけての非常に多感な時期に家庭環境、部活、学校など様々な状況に苦慮しながら、カリエスリスクコントロールを行った症例について報告いたします。

⑤可能性は無限大！ これが赤ちゃん歯科の取り組みです！

わたなべ歯科 (仲井真 緑)

むし歯や歯周病は生活習慣病です。その生活習慣が形成される前からアプローチしていく予防的関わりが“赤ちゃん歯科”です。両親より引き継ぐ生活習慣によってその個人の人生が変わるといっても過言ではありません。その生活習慣が心身にとって好ましくない、悪しき習慣とするならば、その習慣をどこかで断ち切り改善していく必要があります。そのきっかけが1日でも早いものであれば、本人も新たな習慣を受け入れやすくなります。それが幼少期・乳児期・さらには胎児期からアプローチできる“赤ちゃん歯科”は、内容も

- ・胎児期からの母の姿勢
- ・授乳の姿勢、抱っこの仕方
- ・離乳食の開始期から食べ方、選ぶ物
- ・運動
- ・靴の選び方
- ・仕上げ磨き
- ・おやつを選び方

など、おおよそ3歳くらいまでのお子さんを対象とし、様々な角度からお話しをしています。当院の取り組みについて少しでも多くの医院さんに知ってもらい、普及していくことができればと思っています。

⑥ 歯科医院で管理栄養士が輝く～栄養と健口の関わり～

わたなべ歯科 (古澤 安奈)

むし歯予防のために患者さんには甘いものをやめてもらいたいと思っているけれど、なかなかやめてくれない方は多いと思います。そんなとき栄養面からもアプローチをすることで、すんなりとやめてくれるようになります。

また、口腔内、歯は臓器です。患者さんが気付いていなくても、身体の不調が口腔内に初期症状として出ていることがあります。ビタミン不足で口内炎や歯ぐきなど栄養で改善できることは多いです。正しい食生活を患者さんに知っていただくより健康に、笑顔になってもらうために栄養士は歯科医院に必要だと考えています。

歯科医院で管理栄養士が患者さんのためにどんな仕事をするのか。管理栄養士がいる歯科医院ではどんな良いことがあるのか。歯科医院に管理栄養士がいることで、診療がどう変わったか。患者さんにどんな影響があったのか発表させていただこうと思います。

⑦ 多職種連携から見えた歯科職種の役割

若井歯科 (新井 康之 / 西村 幸造 / 若井 広明)

人生 100 年といわれる超高齢社会を迎えるなか、国民の健康意識は向上し、歯科においても口腔ケアやメンテナンスが根付いてきている。その目的は健康寿命の維持で、対象は主に通院できる患者である。

平均寿命が延びる一方で健康寿命との差、つまり要介護期間も延びているのが、この期間の患者 QOL をいかに向上させられるかが課題である。

当院では 2 年前から訪問歯科を始め、多職種連携の必要性を感じ同じ地域の医師や薬剤師などを含めた介護職との勉強会を立ち上げた。今回、訪問診療を通じ多職種と関わるなかで見えてきた、介護現場で求められている歯科職種としての役割について考察したので発表する。

⑧ 卒後 2 年目で担当した初期歯周炎のケース

丸山歯科医院 (平岡 映真)

卒後 2 年目で担当した初期歯周炎 (50 代前半、女性) の症例になります。特筆すべき点もなく、ごく普通のケースです。先日認定衛生士取得のための症例報告したなかの一つになります。

院長から…「認定衛生士取得に際してどう症例をまとめたらいいかかわからない」という話も聞きます。担当者からのコメントももらう予定です。参考にしてください。



● 会場アクセス ● 秋葉原コンベンションホール

会場： (13日) 2F コンベンションホール /
5F カンファレンスフロア
(14日) 2F コンベンションホール

千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 5F および 2F
http://www.akibahall.jp/index.html

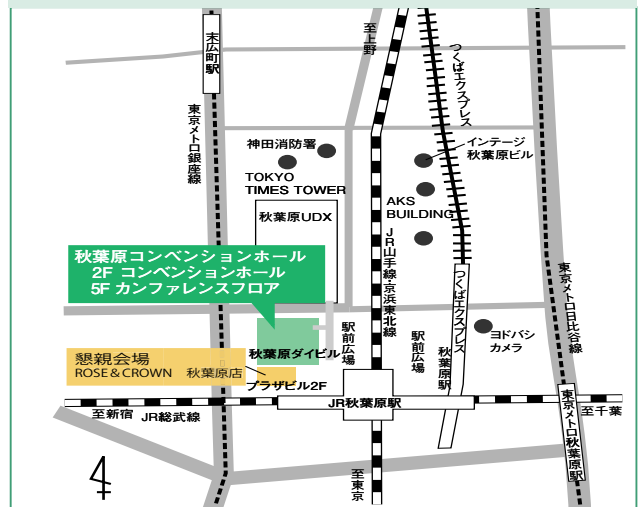
懇親会会場： ROSE & CROWN 秋葉原店
東京都千代田区外神田 1-18-18 秋葉原駅前プラザビル 2F
TEL: 03-3526-3038

● 会場案内 ●

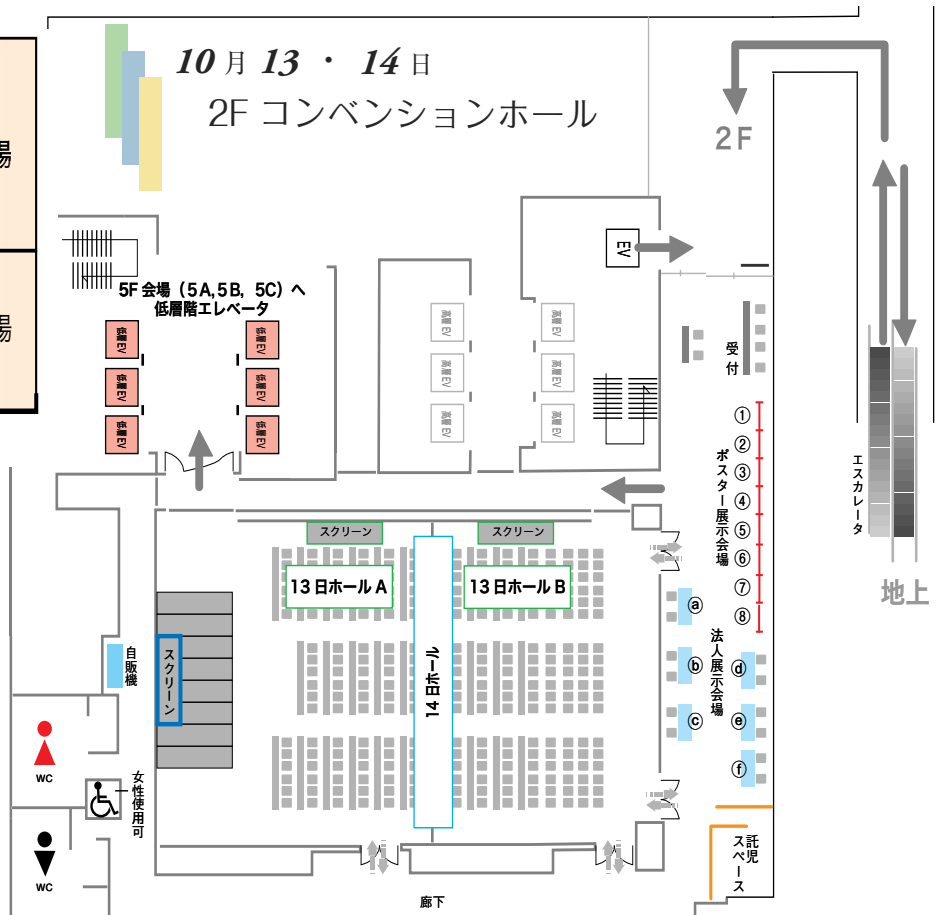
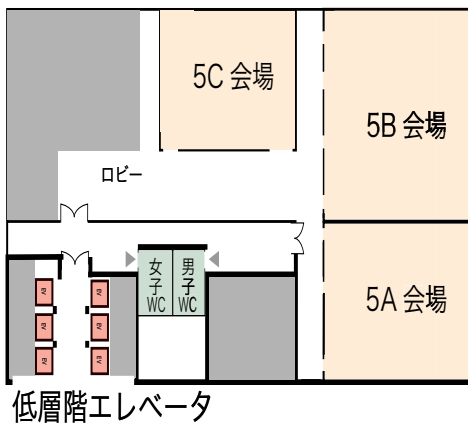
注意★ 2F コンベンションホールには、駅前広場のエスカレータにてお越しください。5F カンファレンスフロアには、2F ホール脇の廊下奥の低層用エレベータにてお越しください。

(交通アクセス)

JR 秋葉原駅(電気街口)	徒歩 1分
東京メトロ銀座線末広町駅(1番出口)	徒歩 3分
東京メトロ日比谷線秋葉原駅(3番出口)	徒歩 4分
つくばエクスプレス秋葉原駅(A1番出口)	徒歩 3分



10月13日 5F カンファレンスフロア
5A, 5B, 5C 会場



ポスター展示

開始 13日 10:00～終了 14日 13:00

「症例報告」「その他」

- ① その歯科クリニック (兵庫県神戸市)
- ② ミライノデンタルクリニック (兵庫県加東市)
- ③ 白木原歯科 (福岡県大野城市)
- ④ 川嶋歯科医院 (東京都国立市)
- ⑤ わたなべ歯科 (埼玉県川口市)
- ⑥ わたなべ歯科 (埼玉県川口市)
- ⑦ 若井歯科医院 (東京都江東区)
- ⑧ 丸山歯科医院 (兵庫県神戸市)

法人会員展示

13日 10:00～18:00 / 14日 9:00～13:00

- a) インターアクション (株)
- b) (株) ヨシダ
- c) アクセス
- d) ライオン歯科材 (株)
- e) (株) コムネット
- f) (有) ウィルデント

ヘルスケアだヨ！ 全員参加 / CRASP でカリエスリスクマネジメント

日時：2019年10月13・14日（日・月祝）

会場：秋葉原コンベンションホール（東京・秋葉原）

（2F コンベンションホールおよび5F カンファレンスフロア）

Day 1 10月13日（日）

10:30～18:10

2F コンベンションホール
5F カンファレンスフロア

ヘルスケアだヨ！ 全員参加

診療所単位でのミクロな視点から、壮大な社会貢献、そして、その二つをつなぐ臨床データまでカバー。質疑の時間もたっぷり。全員参加のヘルスケアミーティングです

Day 2 10月14日（月祝）午前

8:45～12:50

2F コンベンションホール

CRASP でカリエスリスクマネジメント

座長：中本知之

講義を聴くだけでなく、体験する、経験者の話を聴く、密度の高い3時間50分

参加費	会員	非会員
歯科医師	12,000 円	15,000 円
その他	5,000 円	8,000 円
学生*	無料	
懇親会	4,500 円	

*会員・特別学術会員などの紹介を受けた学生・研修医 無料

お知らせ・ご注意

- ・お申し込み FAX 受理後、事務局より振り込み案内をお届けします。振込手数料はご負担ください。
- ・事前にキャンセルされた場合は、手数料を差し引いた参加費を返します。但し9月末日以降の場合は、ご返金できませんので、ご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ…

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会事務局

FAX : 03-3260-4906 TEL : 03-5227-3716 <http://www.healthcare.gr.jp/>

ヘルスケアミーティング2日目のあと同会場で開催！

● 10月14日（月祝）午後

14:00～18:00

2F コンベンションホール

禁煙支援歯科衛生士育成ミーティング 参加無料
ファシリテーター：歯科衛生士育成基礎コースインストラクター

- ・歯周病患者さんのインタビュー（3～5人）から作成した意見交換の引き金となるビデオ（トリガーフィルム）を閲覧したうえでのグループワーク
- ・口腔衛生指導の一環として喫煙習慣について患者さんに尋ね、患者さんといっしょに考えている（禁煙支援）の実例紹介を見たうえでのグループワーク

※お申し込みは前回のニュースレターに同封のパンフレットをご利用ください。ホームページからも申し込みできます。

◆ 10月14日（月祝）午後

14:00～

5F カンファレンスフロア 5A

歯周病の進行度バイオマーカー研究について

久保庭雅恵 准教授（大阪大学大学院歯学研究所）

無料

託児サービスあります！（両日）

- ・対象年齢0～5歳
 - ・要事前申込（受付締切：9月27日）
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。



ホームページからも申し込みできます

参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます（news22-4）

ヘルスケアミーティング2019 参加申込み（会員専用）

（必要項目で記入、該当欄に✓印を記入ください）

フリガナ ご氏名	会員番号： <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 <input type="checkbox"/> 託児	フリガナ ご氏名	会員番号： <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 <input type="checkbox"/> 託児
フリガナ ご氏名	会員番号： <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 <input type="checkbox"/> 託児	フリガナ ご氏名	会員番号： <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他 <input type="checkbox"/> 託児
勤務先・診療所名	参加申し込み人数	人	合計金額 円
住所 〒	電話番号	-	-
	FAX 番号	-	-
e-mail			